

## 平成30(2018)年度 第1回デ活シンポジウムのご案内

「首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト」は、昨年度はプロジェクトの初年度として、産官学民が連携して、研究活動・社会活動を実現する「データ利活用協議会(デ活)」を立ち上げ、1年間活動を続けてまいりました。

現在、「デ活」においては、企業を中心とする皆様とプロジェクト研究者の間で、活発なやりとりが始まっております。本年度は参画組織との協働により、さらなる分科会活動を本格化させるべく、活動を継続しています。

初回シンポジウムにおきましては、改めて、プロジェクトの目標である「社会のレジリエンスの向上」そのものをテーマとし、「レジリエンスの向上」を企業・組織戦略の柱とされている企業・自治体の皆様からご登壇いただき、皆様と考える機会を持ち、デ活において実現すべき社会目標について、共有します。



首都圏レジリエンスプロジェクト総括/  
東京大学地震研究所 教授  
平田 直

## サブプロジェクト(a) データ利活用にもつれた連携体制の構築

皆さんの組織では、平時からどのように「災害時の事業継続や防災対策」に取り組んでおられるでしょうか。具体的な目標は？ 活動を維持するための体制は？ 拠り所とするフレームは？

今回のデ活シンポでは、既存枠組みを活用しながら、独自の方法でレジリエンス向上を目指す企業・自治体から登壇者を迎え、その経験と実際を学び、データ利活用協議会において、取り組むべき事項を考えます。



サブプロ(a)統括/  
新潟大学危機管理室  
教授  
田村 圭子



サブプロ(a)統括/  
首都圏レジリエンス研究センター  
副センター長  
上石 勲

## 平成30年度 第1回 デ活シンポジウム

### 「レジリエンス力を高めるフレームワーク — 企業・自治体の取り組みに学ぶ —」

主催：国立研究開発法人 防災科学技術研究所

日時：平成30年6月22日(金)10:00~12:10 場所：全国町村会館 2階ホール

## プログラム

- 9:30 開場
- 10:00 あいさつ 文部科学省
- 10:05 はじめに 「初年度から2年目にむけて～デ活における産官学民連携の進捗～」  
首都圏レジリエンスプロジェクト 総括 平田 直 (東京大学地震研究所 教授)
- 10:15 本日の主旨 研究者より 「組織がレジリエンス力を高めるために必要なこと」  
首都圏レジリエンスプロジェクト サブプロ(a)統括 田村 圭子 (新潟大学危機管理室 教授)
- 10:30 プレゼンテーション 企業より① 「津波被災を乗り越え、あらゆる危機に強い企業になるために」  
株式会社白謙蒲鉾店 常務取締役 白出 雄太
- 10:50 企業より② 「内作“小さなBCP”構築マニュアルで、グループ全体の事業継続力強化」  
株式会社リコー 内部統制室 リスクマネジメント部 部長 荻原 毅
- 11:10 自治体より 「セーフコミュニティの枠組みに基づく安全・安心なまちづくり」  
厚木市協働安全部 セーフコミュニティくらし安全課 係長 新倉 準
- 11:35 パネルディスカッション 「レジリエンス力を高めるフレームワーク」  
パネリスト： 白出氏  
荻原氏  
新倉氏  
防災科研 気象災害軽減イノベーションセンター長補佐 中村 一樹  
モデレーター：田村 圭子 (サブプロ(a)統括)
- 12:05 おわりに

## 2018年度 シンポジウム予定

- 第2回シンポ 9月19日(水) 10:00~12:00 (9:30開場) 【会場】全国町村会館ホール
- 第3回シンポ 12月5日(水) 10:00~12:00 (9:30開場) 【会場】全国町村会館ホール
- 第4回シンポ 平成30年度 成果報告会 2月28日(木) 13:00~17:00 (12:30開場) 【会場】予定：伊藤謝恩ホール(東京大学)

